

生産者情報コーナー

組合員の皆さんの実践例を載せ、参考にさせていただくコーナーです。

今回は、あさつゆ景観プロジェクトで植えたビオラについて、山本信一さんが丸子実高校の先生から聞き取って頂いた内容をご紹介します。

特性：ビオラ・パンジーは三色スマレを改良したもので、ビオラは中形のもの、これを大きくしたもののがパンジー。両方とも耐寒性があり、特にビオラの方が寒さに強いので屋外の花壇に向いている。室内に置く場合は、温度が高いと徒長して倒れ易く過繁茂となり病気が発生しやすいので注意が必要。玄関や廊下など温度の低い場所に置くようにする。

●栽培法（ビニールハウス無加温栽培）

- ・播種：10月上旬 平箱又はプラグ専用箱に山土と腐葉土、焼きヌカなどを混ぜたもの又は市販の床土を使用。
- ・1回目の移植：11月上旬に7cmポットに植え付け。十分灌水する。用土は播種時と同じ。
- ・2回目の移植：12月上旬に15cmポットに2株寄せ植え。景観用にはこれをプランター又は鉢に植える。



●管理方法

寒さには比較的強いが、冬期の乾燥には注意が必要。土の表面が乾いたら灌水する。温度は上げない。風通しをよくすること。夜温が高くなると花がつかなくなる。

年内に露地に植える場合は、秋早めに植え付けて根張りを良くする。葉は傷んでも春になると葉が出て花をつける。

病虫害防除：うどんこ病、アブラムシ

●品種（あさつゆで植えたもの）

- ・ペニーホワイトジャンプアップ（三色小輪）
- ・ニューラベンダーホワイト（黄色中輪）
- ・ペニーラベンダーシェード（ライトブルー中輪）

野菜の作業

種まき・定植	栽培のポイント
<p>播種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホウレンソウ、コマツナ ・チンゲンサイ、ダイコン ・カブ、ニンジン、モロヘイヤ、スイートコーン、枝豆など <p>植え付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマト、ナス、ピーマン ・キュウリ、スイカなど果菜類 ・ネギ、ハクサイ、キャベツ ・パセリ、セルリー、ブロッコリー、サトイモ、ナガイモ、キクイモなど 	<p>●果菜類の定植</p> <p>定植前日植え穴に500倍程度に薄めた液肥を1穴あたり1リットル与えておくと活着が促進される。接ぎ木苗は、接いだ部分を地面に付けないように植える。鉢に灌水をし、根鉢を崩さないように植える。ピーマン、シシトウ、ナスは高温性なので最低気温10度以上で定植する。（上田5/下）</p> <p>●ニンジンの発芽を揃える</p> <p>播種前に灌水し畦を十分湿らせておく。種子は一晩水につけ、翌朝余分な水気をふきとり、湿った砂などにまぜてまく。好光性種子なので覆土は薄く均一にする。発芽までは畦を乾かさないう敷きワラなどをしておく。</p> <p>●夕刈の植え付け</p> <p>収穫の終わった古い株を掘り取り、鉛筆の太さ以上の根を10cmに切る。植え溝を掘り株間60cmで一列に植える。植え穴に灌水し、7cm程度覆土し、敷きワラをする。</p> <p>●ウドの収穫後管理</p> <p>収穫後芽が出揃った時に寄せ土をしっかりと戻して株基の茎を、株当たり1~2本の立茎数になるよう間引く。株分けする場合は、株をスコップで掘り上げ、1芽1根として分割して植え付ける。</p>

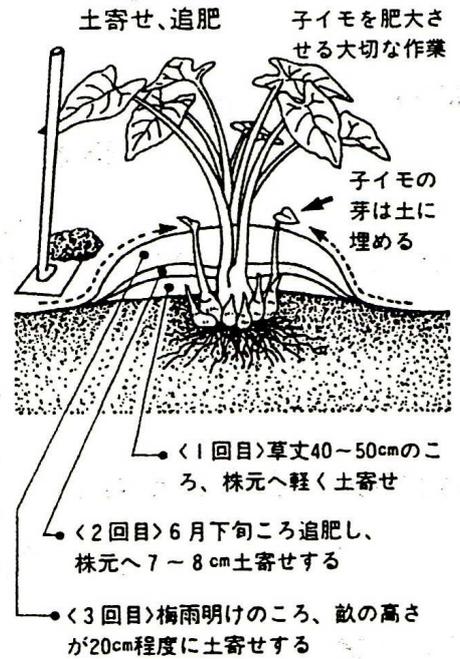
●サトイモの栽培

- ・品種：石川早生丸、早生丸土垂（ともに子イモ出荷用）
- ・施肥（10㎡あたり）：堆肥20kg 苦土石灰 1.5kg 元肥 MMB40を1kg程度
- ・植付け：地温15℃以上が定植適期。畦幅90cm、株間30cmで植付け黒マルチをはる。覆土10cm。芽が出たらマルチの穴を開ける。
- ・追肥・土寄せ：草丈が40cm位になったらマルチを除去し、5センチ位土寄せする。
6月下旬に追肥（NK化成を10㎡あたり400g）と第2回目の土寄せを行い、同様に梅雨明けに追肥土寄せを行なう。
- ・わき芽掻き：定植直後から出た芽は掻きとり親イモを1本とする。7月以降、子イモから出た芽には土を盛る。

◎種イモの準備



・種イモはふくらとして芽が傷んでいないものを選ぶ。大きさは40～60g位がよい。



●作ってみては？（～バラエティーに富んだ品揃えのために～）

NO.2

品 目	栽培のポイント
<p>バジル</p> 	<p>トマトやチーズとの相性がよいのでスパゲティーやピザ、サラダなどのイタリア料理に欠かせないハーブ。発芽適温（地温）、生育適温とも20～25℃と高いので早くから収穫したい場合は、ハウス内での育苗・栽培が適当。9cmポットにタネをまき、ごく薄く覆土する。本葉が2枚くらいのころによい苗を残して1本にする。20～30cm間隔に植え付け、本葉10枚位になったら芯を摘み、腋芽をださせる。小さくなった葉から摘み取って出荷する。（トマトの側におくと効果的?!）2週間に1回位薄い液肥で追肥する。余った葉はバジルペースト、オリーブオイル漬けなどに利用、乾燥させ出荷してもよい。</p>
<p>エンサイ（空心菜）</p> 	<p>ヒルガオ科サツマイモ属の植物。暑さには極めて強く、多湿土壌を好む。中国・東南アジアで広く栽培され、炒め物にすると美味。灌水が出来るほ場を選び、基肥は多めにする。種皮が硬いのでひと晩水につけて催芽させ、条間30cm、株間20cm程度の間隔で1カ所2粒播種。本葉4～5枚になったころ1本立ちにする。常に肥料切れさせないように、窒素分の多い液肥を追肥として施す。乾燥に弱いので、灌水をこまめにおこなう。草丈が20cmのころ、株元の5～6節を残してやわらかい部分を収穫。下からわき芽が出てくるのでまた収穫できる。</p>
<p>トウガン（姫トウガン）</p> 	<p>トウガンは収穫後冷暗所で初冬まで保存出来るので冬瓜と書くとも言われる。姫トウガンは、俵型の果重1.5kg程度のミニタイプ。高温性植物で、発芽適温が25℃以上と高いのでハウス内育苗が適当。生育適温も17～30℃と高い。（15度以下で生育劣る）子づる4本仕立てとし、各つる2果を目標に着果させる。訪花昆虫を利用した自然交配も可能だが、確実に着果させるためには、ハチの利用か手交配による人工受粉を行う。追肥は着果後、果実の肥大開始期より液肥で行い、以降草勢に応じ液肥で行う。交配後約25～30日で収穫が可能となる。（タキイ種苗 品種カタログより）</p>

堆肥も色々です。未熟な堆肥は、発芽障害や生育障害が発生します。また、種類によって含まれる成分も異なっています。熟度や分量を考慮して使用しましょう！！



5月は春の農作業安全月間です！！

有機物の平均成分と肥料代替率

種 類	成分量(N-P-K) %	肥 料 代 替 率 (N-P-K) %
鶏糞	3-4.5-3	70-70-90
カクズ牛糞	0.7-0.6-0.7	30-50-80
米ヌカ	2.4-5.8-2.0	70-70-80
稲ワラ	0.5-0.25-1.0	-----

※施肥量に換算=施用量×成分%×代替率%

あさつゆ連絡先 電話・FAX 41-1062

技術事項作成協力：上小農業改良普及センター
地域生活係 櫻井普及員（TEL25-7156）